



20180123 第2回「住宅団地再生」連絡会議

豊明団地から広がる 産学官による地域包括ケアシステム 地域包括ケア「豊明モデル」けやきいきいきプロジェクト



OUTLINE

目次

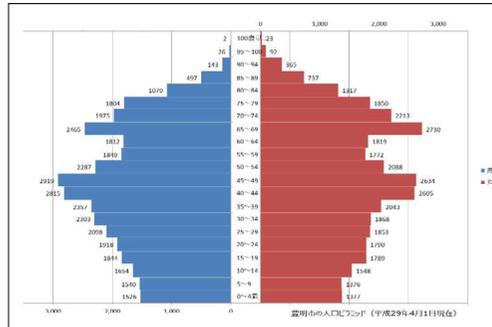
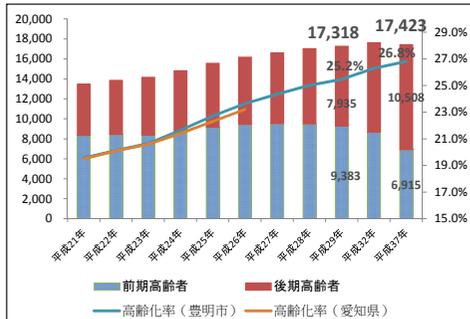
- 1 取組の背景
- 2 住宅供給者として～UR都市機構
- 3 教育機関として～藤田保健衛生大学



1 取組の背景

豊明市の概況

- ・愛知県のほぼ中央に位置する名古屋市のベッドタウン
- ・人口 68,802人 (29,240世帯)
- ・高齢者人口 17,318人 (平成29年4月1日現在)
- ・高齢化率 **25.2%** (県高齢化率より高い)
- ・人口構成は、前期高齢者に人口に山があり、
今後10年の後期高齢者の伸びが著しい地域特性



1 取組の背景

豊明市を取り巻く社会変化

◇背景

- ・大都市近郊の高齢化の典型、**後期高齢者人口の著しい増加**
- ・**豊明団地**を中心に**独居高齢者・高齢者のみ世帯**の増加
- ・急激に増え続ける**医療・介護ニーズ**
- ・**高水準の有効求人倍率**により、**医療介護を担う人材の確保困難**

◇課題

- ・**在院日数の短縮**、繰り返す入退院
- ・全国平均、県平均を上回る一人あたりの**医療費**
- ・軽度者を**要介護状態にさせない、重度化させない**仕組み
- ・この10年間に後期高齢期を迎える世代の**健康づくり**

豊明市の医療・介護資源

医療資源

病院 3 (一般病床1,435、回復期床0、療養28)

藤田保健衛生大学病院、豊明栄病院

桶狭間病院藤田こころケアセンター

診療所 39、歯科 39、薬局 25、訪看 5、訪リハ 4

関連師会

- ◆医師会 : 東名古屋豊明市医師会
- ◆歯科医師会 : 愛豊歯科医師会豊明支部
- ◆薬剤師会 : 日進東郷豊明薬剤師会

介護資源

特別養護老人ホーム 4 (259床)

老人保健施設 2 (448床)

訪問介護 5, 通所介護 11

小規模多機能居宅介護 1

認知症対応型共同生活介護 4 (5ユニット)

定期巡回随時対応型訪問看護介護 1

居宅介護支援事業所 13

地域包括支援センター 3 (委託)



藤田保健衛生大学病院

許可ベッド数 : 1,435 床

平均在院日数 : 15.2 日

平均外来患者 : 約 2,100 人/日

医療従事者 : 約 2,600 人

年間手術件数 : 約 11,000 件

退院調整依頼 : 1,500 件/年

年間退院患者数 : 約25,000人

1つの医療施設としては我が国最多を誇る病床を持つ厚生労働省が定める特定機能病院

藤田保健衛生大学 地域包括ケア中核センター

2013年2月1日、全国初「学校法人」による介護保険事業設置許可
居宅介護支援事業所・訪問看護ステーションを設置

地域包括ケアを担う地域の人材育成とモデル的取り組みの実践



学校法人として推進する先進的地域包括ケアモデル 地域包括ケア中核センター



地域包括ケア「豊明モデル」のあゆみ

豊明市と藤田学園の包括協定

平成25年4月30日

- ・藤田保健衛生大学・藤田保健衛生大学病院との多分野での連携協力に関する包括協定締結



豊明市とUR都市機構との包括協定

平成26年4月16日

- ・超高齢社会に向けた団地の地域の医療福祉拠点化に向けて包括協定締結

- ・全国100団地拠点に選定



URと藤田学園の包括協定

平成26年12月5日

- ・地域医療福祉拠点の形成や、ミストコミュニティ形成推進に向けた取組みに関する包括協定締結



愛知県地域包括ケアモデル事業

・平成26年度～平成28年度(3年間)

- ・豊明市北部地域「豊明団地」をモデル地区とし、藤田保健衛生大学・UR都市機構とともに事業展開

- ・豊明団地から広がる地域包括ケア「豊明モデル」づくり「けやきいきいきプロジェクト」

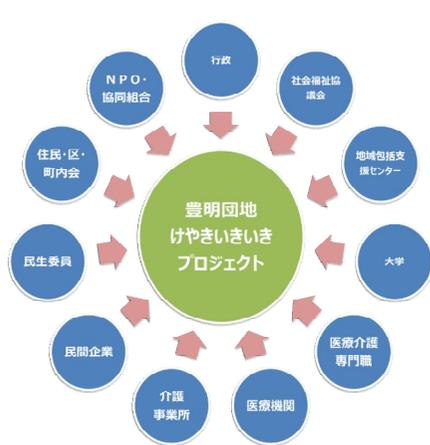
産学官の地域包括ケア～豊明団地けやきいきいきプロジェクト～

豊明団地ケアネットワークの協力体制

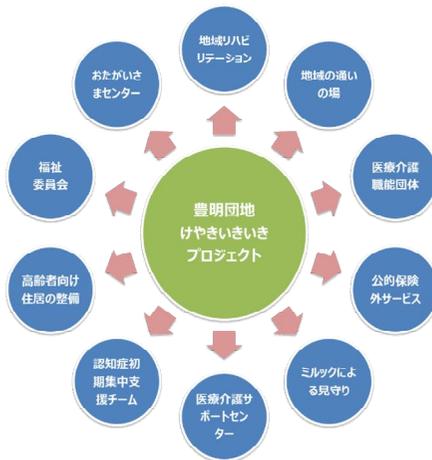


けやきいききプロジェクトが「資源が集まり広がる」好循環へ発展

資源の集約・課題の共有



技術の分散・事業の拡大



9

OUTLINE

目次

- 1 取組の背景
- 2 住宅供給者として～UR都市機構
- 3 教育機関として～藤田保健衛生大学



1 地域医療福祉拠点化とは？



地域医療福祉拠点化の取組みでは、

地域の関係者の方々と連携・協力しながら、

豊かな屋外空間を備え、多くの方が住まう団地を“地域の資源”として活用し、

地域に必要な住宅・施設・サービスの整備を推進していきます。

団地を含む地域一体で、

“多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まち”

《ミクストコミュニティ》の実現を目指します。

11

2 地域医療福祉拠点化の主な3つの取組み

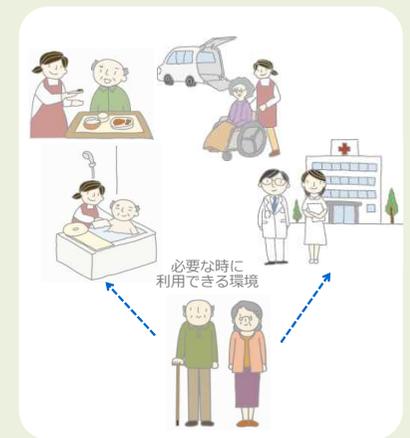


① 地域における医療福祉施設等の充実の推進

地域医療福祉拠点化の取組みでは、団地を含む地域全体で在宅医療・看護・介護サービス等が受けられ、安心して住み続けられる環境づくりを目指しています。その環境づくりに向けて、団地内の敷地や賃貸施設に医療・福祉施設等を誘致し、地域における医療・福祉施設等の充実を推進しています。

例えば

- 医療・介護・子育て・交流機能を有した複合施設
- 地域包括支援センター
- 病院・診療所
- 小規模多機能居宅介護事業所
- 病後児保育室
- 相談拠点の導入



12

② 高齢者等多様な世代に対応した居住環境の整備推進

地域医療福祉拠点化の取組みでは、高齢者の方が安全・安心に住み続けられるよう工夫した住宅や多世代のニーズに合った住宅の整備を進めています。また、共用部のバリアフリー改修や見守りサービスの提供も進めています。



高齢者・若年層・子育て世帯等、多様な世代のニーズに合った住宅の供給



共用部分におけるバリアフリー化の改修や、外出しやすくなる環境づくり

例えば

- 健康寿命サポート住宅
- 多様な生活スタイルに対応した住宅プラン
- 共用部分のバリアフリー等の改修
- 生活支援アドバイザー
- 既存住棟を活用したサービス付き高齢者向け住宅の整備



豊明団地における地域医療福祉拠点化の取組み

③ 若者世帯・子育て世帯等を含むコミュニティ形成の推進

地域医療福祉拠点化の取組みでは、団地内の屋外空間や賃貸施設、集会所等を活用し、多世代交流の機会の創出や生活支援サービス機能の導入を進めています。



子育て支援・交流拠点のイメージ



団地の豊かな屋外空間を活用した交流の場の整備

例えば

- 生活支援サービス機能の導入
- 交流イベントの開催
- 豊かな屋外空間を活用した交流の場の整備
- 交流拠点の導入
- 子育て支援機能の導入

1 豊明団地の概要

所在地：愛知県豊明市二村台五丁目1-1他
 交通：名鉄名古屋本線「前後」駅バス10分、バス停下車徒歩1分
 戸数：2,127戸
 管理開始：昭和46年 5階建て49棟（54・55号棟のみEV後付）
 間取：2DK～3DK（39㎡～51㎡）
 月額家賃：37,200円～48,200円
 共益費：2,300円/月

■位置図■



■団地内配置図■



2 豊明団地での取り組み方針

【藤田保健衛生大学による「まちかど保健室」の設置】

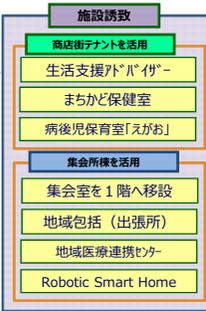
大学による団地での地域医療福祉拠点

- ・看護師・薬剤師・ケアマネ等による相談受付
- ・大学生の在宅医療・介護・ボランティアの人材育成拠点として活用
- ・健康に関する講座・イベントの開催

【市・大学・自治会との連携】

団地内集会所・市の自治会館を活用した取組の実施

- ・高齢者健康増進事業（健康体操・レクレーション会）の実施
- ・自治会コミュニティ（夏祭り・高齢者食事会等）への学生の参加



【豊明市による「地域包括支援センター出張所」「地域医療連携センター」「病後児保育室」の設置】

団地内に高齢者支援及び子育て支援を担う施設を設置

- ①まちかど保健室
- ②病後児保育室
- ③集会所改修
- ④地域包括支援センター（出張所）
- ⑤地域医療連携センター
- ⑥Robotic Smart Home

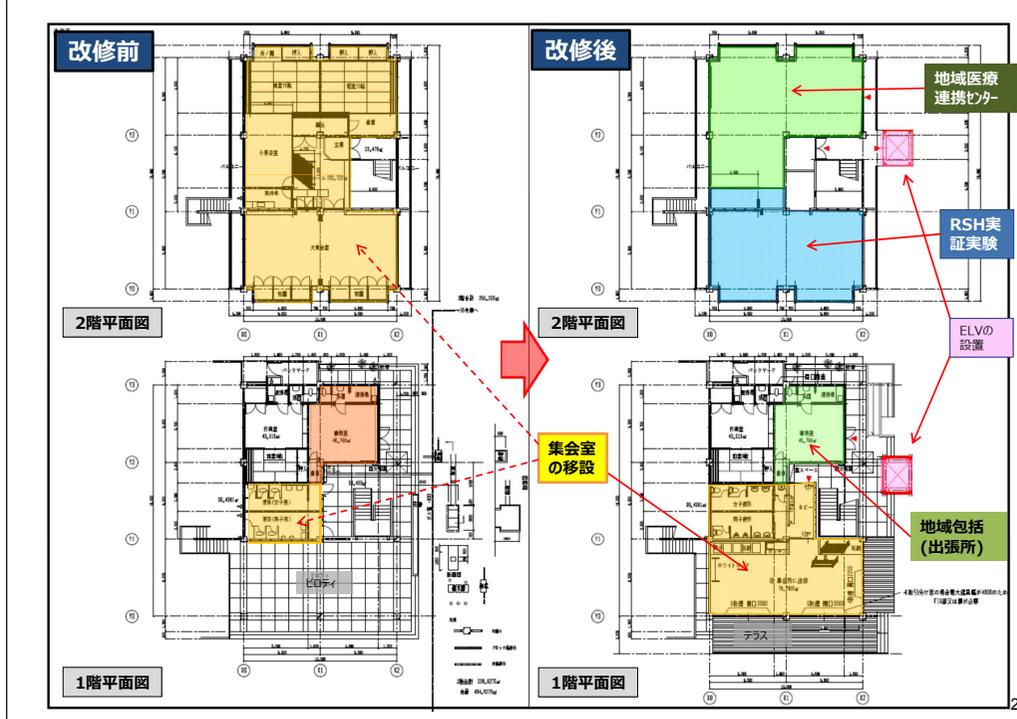
3-1 豊明団地における施設誘致



3-2 集会所棟の改修&施設誘致

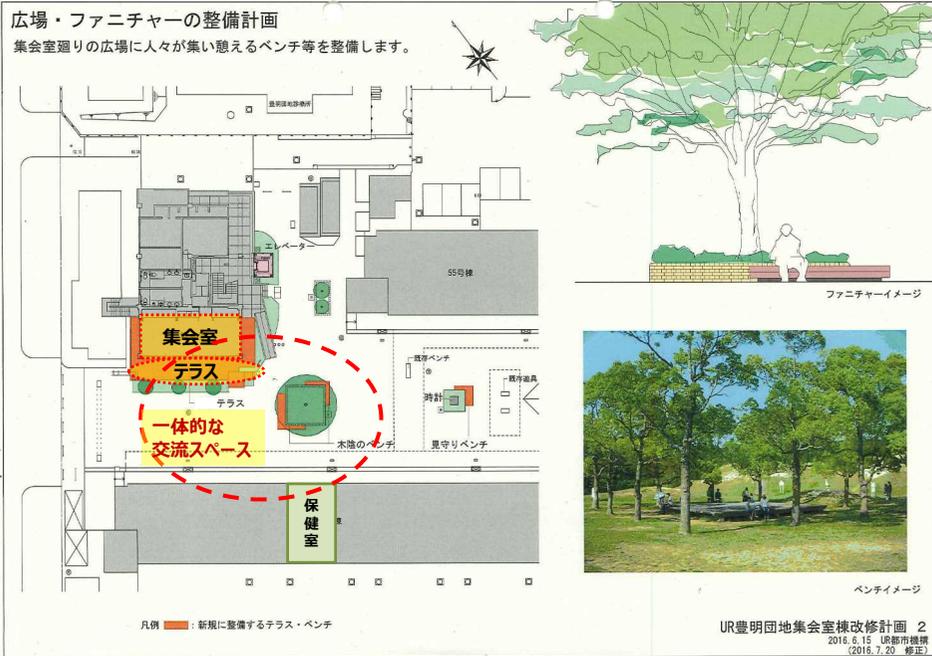


改修前の集会所棟（全景）



広場・ファニチャーの整備計画

集会所廻りの広場に人々が集い憩えるベンチ等を整備します。



凡例 ■：新規に整備するテラス・ベンチ

UR豊明団地集会所棟改修計画 2
2016. 6. 15 UR都市機構
2016. 7. 20 修正

改修前



けやきテラス

改修後



集会所の利用状況【グリーンカフェ・子ども食堂】

グリーンカフェ



認知症の方やご家族がゆっくりとした時間を過ごしたい・お困りごと・不安・悩みをお持ちの方など・・・どなたでも自由に参加し専門職（社会福祉士・看護士等）に相談できる憩いの場です。気兼ねなくおしゃべりをして、ちょっと一息出来る場所。

日時：毎月第2・4月曜日
(祝日の時はお休み)
時間：14時～16時まで
場所：けやきテラス1階集会所
(旧豊明団地集会所)
飲み物代：100円
お問い合わせ先
豊明市北部地域包括支援センター
豊明団地出張所



ここにこ食堂 in 二村台 招待状

ここにこ食堂は、高齢者や障害者など多岐にわたる方々を支援する、ひびいてはるまで、食のつながりを大切にしたい。みんなでいっしょにのんびりおいしい食事を食べませんか？

白にち 毎週 29日 10月20日 (金)
給食 午後5:00～7:00 (要予約)

場所 豊明団地けやきテラス 1階集会所 (豊明市二村台5丁目1番地1)

参加費 こども...無料
おとな...300円
メニュー カレーライス

※アレルギー対応はしておりません
※定額100円です。
※なにかと変更了りお詫言させていただきます。
※駐車場はございませんので、自転車または徒歩にてお越しください。

3-3 施設誘致に係る「スマートウェルネス住宅等推進事業」の活用

スマートウェルネス住宅等推進事業

①サービス付き高齢者向け住宅整備事業

②スマートウェルネス拠点整備事業

○住宅団地等における併設施設※の整備費に対して、国が民間事業者等に補助を行う。

補助率：建設・買取・改良 1/3
補助限度額：1,000万円/施設

※高齢者生活支援施設（見守りや生活支援サービス等の拠点施設等）、障害者福祉施設、子育て支援施設

③スマートウェルネス住宅等推進モデル事業

○高齢者、障害者、子育て世帯の居住の安定確保及び健康の維持・増進に資する先導的な事業として選定されるものに対し補助を行う。

〔建設工事費〕 補助率：建設・買取 1/10、改良 2/3
〔技術の検証費、情報提供及び普及費等〕 補助率：2/3

H27年度
➢ 病後児保育室

H28年度
➢ 地域医療連携センター
➢ 集会所の移設
➢ ELV設置、トイレ改修等※

※補助対象施設の共用部として



H28年度（選定）

➢ Robotic Smart Home実証実験※

- ※既存住宅へ介護支援型ロボットを導入する実証実験
- ・集会所棟2階にモデル住宅を設置
- ・藤田保健衛生大学他がロボット等を開発・設置
- ・豊明団地居住者による実証実験